



今回は LGBTステークホルダートーク の報告です。

◇ 関市のLGBT当事者支援団体の方々と関高生が交流しました！

テーマ: LGBTに関わる際の用語の問題

日時: 令和元年12月12日(木) 17:00 ~ 18:00

場所: 関高等学校 小会議室

参加: LGBT当事者支援団体・レイニー・オーレのまことさん、あんなさん
1・2年生の希望者(課題研究でLGBT問題に取り組んでいる生徒)、教員

@ステークホルダーとは… ビジネスや社会問題などで「利害関係者」のことをさす用語。あらゆる問題にステークホルダーが存在するが、たがいにコミュニケーションを大切にし合意形成をめざすことが課題解決の糸口なる。

◇ 当日のようす

1・2年生全員が取り組むSGH課題解決型研究では、生徒自身が自分たちでテーマを設定します。数あるテーマの中でも、LGBT問題は、地元関市が全国各地の自治体の中で最も早くこの問題に取り組んだこともあって、毎年、チームが結成され研究が進められています。特に昨年度からは、関市や中部学院大学と共同してシンポジウムを開催するなど、その活動は年々熱を帯びてきているといっても過言ではありません。

今年度は1・2年生で計4チームが結成されました。より多くの人たちに、LGBTの問題を理解してもらうための方策として、実際に漫画を作成したグループ、保護者向けの啓発を考えているグループなど、それぞれが様々な視点から課題解決に向けての具体的提案を練っているところです。

より多くの方々にこの問題を理解してもらうためには、誤解のないよう、用語の使用について細心の注意を払わなければなりません。思わぬ言葉が相手を傷つけたり、トラブルの原因になったりすることがあるからです。今回は、まことさん、あんなさんのおふたりに来校していただき、用語の使用に関する諸注意、マナーについてお伺いしました。

「男の子は青、女の子は赤」といったステレオタイプな考え方は、まだまだ私たちのまわりに残っています。今回はそうした問題を再認識するよい機会となりました。

まことさん、あんなさん、今回もお世話になりました。ありがとうございました。

